

卒業生の意見を本学の教育・研究の改善に繋げるためのアンケート結果概要

〈調査概要〉

目的:卒業生から、在学当時に振り返り社会人の立場から本学の課題について意見をいただき、これからの教育・研究、大学運営に活かしていく。

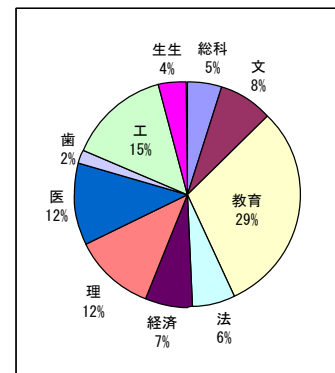
対象:学部卒業後5年経過の者

方法:入学時の家族住所あて調査票を送付し本学あて返送。

期間:平成24年12月25日～平成25年1月18日

状況:発送数2512、未達数186、回収数478、有効数478、回収率20.6%

内訳:総合科学部24、文学部37、教育学部143、法学部30、経済学部33、理学部55、医学部56、歯学部8、工学部71、生物生産学部18、無回答3



〈調査結果〉

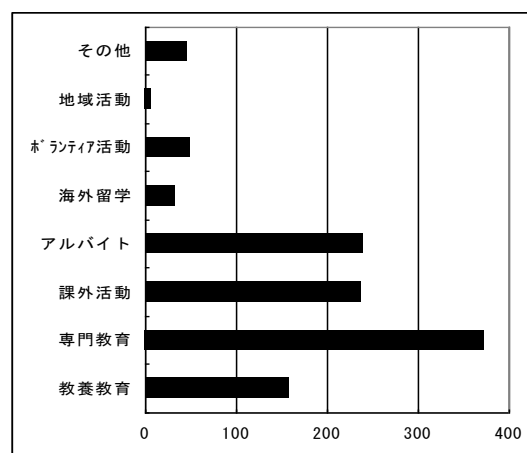
(大学生生活全般)

【質問】大学生生活全般で、現在役に立っていると思うものは何ですか？(複数回答可)

①教養教育 ②専門教育 ③課外活動(サークル等) ④アルバイト ⑤海外留学 ⑥ボランティア活動 ⑦地域活動 ⑧その他(具体的に:)

【結果】

結果の順は、②専門教育、④アルバイト、③課外活動、①教養教育である。グラフが示しているように②専門教育は群を抜いており、現在、専門分野の知識やノウハウを生かして活躍できる仕事に就いていることが窺える。役に立ったこととして、専門分野の知識の他、演習での学生同士の錬磨や討論、課題解決した経験、卒論に至るまでに培った研究の進め方・結果や考察のまとめ方・発表の仕方などが挙げられている。次に、④アルバイト、③課外活動はほぼ同数である。この二つに共通するものとして、人間関係が挙げられている。多様な人と出会い、接し方を学び、人との出会いの大切さに気づいたという意見が多い。また④アルバイトでは働くことの大切さ、お金を稼ぐ大変さを挙げていた。①教養教育では、専門外の幅広い知識と教養を身につけることにより、物事を捉える視点が多角的になったことが挙げられている。



全体を通して、大学生生活を通して受けた教育や自分が能動的に行った活動は、仕事に直接関係のないことでも、卒業生が人生を歩む上で、幅広い教養や基盤となって役に立っているという回答が多数寄せられている。

(教養教育)

【質問】教養教育で、現在役に立っていると思うものは何ですか？(複数回答可)

①語学 ②多角的視点(パッケージ別)の科目 ③学部の専門教育に関連した科目 ④学部の専門分野以外の科目 ⑤教養ゼミ ⑥その他(具体的に:)

【結果】

結果の順は、③学部の専門教育に関連した科目、①語学、④学部の専門分野以外の科目、②多角的視点(パッケージ別)の科目、

⑤教養ゼミとなっている。①②④については大きな差はないが、①語学については、もっと学んでおけばよかったという自身の学習態度に対する反省が多数寄せられていた。現在の仕事に就いてみて、必要度が増すにも関わらず、学ぶ時間や機会のないことに対する実感であろう。

全体を通して、幅広い教養や知識・常識が身についたこと、視野が広がったことが挙げられていたが、授業内容の充実、講義ばかりでなく討論や実践の場を望む声もある。また、これは教養教育に限ったことではないが、他学部・専門の異なる学生と交流できる場があつてよかったとの声も挙げられている。

(専門教育)

【質問】 専門教育で、現在役に立っていると思うものは何ですか？（複数回答可）

- ①講義 ②演習（ゼミ） ③実験・実習 ④卒業研究 ⑤その他（具体的に： ）

【結果】

結果の順は、①講義、③実験・実習、②演習（ゼミ）、④卒業研究であるが、①と③、②と④の数値にはさほどの差はない。

全体的に、すべてを通して、主体的・計画的に物事に取り組む姿勢や、論理的思考力・文章力・プレゼンテーション力といった能力を挙げている卒業生が多かった。しかし、②演習（ゼミ）、③実験・実習を特に評価する卒業生がいる一方で、学部によっては、実践的な理論やスキルが身につく機会の充実を希望する声もあつた。学部間の違いもあるが、自分の興味・

関心を深めることで、達成感や満足感を得たとか、学ぶことの楽しさを感じたとの声が多くあり、先の結果とも併せて、専門教育は質の確保がされていると考えて差し支えない。

(学生支援)

【質問】 学生対応・支援で充実・改善してほしいものは何ですか？（複数回答可）

- ①履修手続き ②授業料免除・奨学金 ③もみじ ④課外活動（サークル） ⑤学生宿舎等 ⑥アルバイト ⑦学生保険 ⑧保健管理 ⑨進路・就職 ⑩その他（具体的に： ）

【結果】

結果の順は、⑨進路・就職、②授業料免除・奨学金、①履修手続き、⑤学生宿舎等、③もみじ、⑧保健管理＝④課外活動（サークル）、⑥アルバイト、⑦学生保険である。⑨進路・就職については、就職に関する意見が多く、入学の早い段階から就職に関する情報や、キャリアセンターの支援内容の情報提供を望む声が多かった。また、社会で活躍している卒業生や業界とのパイプも強くして現役生の進路・就職をもっとバックアップしてほしいと望む声、教育学部の卒業生からは、教員採用試験対策の充実を望む声が多く見られた。②授業料免除・奨学金、⑤学生宿舎等については、利用でき感謝している学生がいる反面、入居期間の延長を求める声、さらなる充実を求める声があつた。①履修手続きについては「わかりにくかった」ことが挙げられている。

全体を通して、県外から入学する学生が多いため、学生生活全般についての支援の要望が多い。

